

LTE環境のChromebook 1台で 校務と学習に活用できる環境を実現 教員の働き方改革を前進

— 町田市教育委員会

目的

- 限られた予算のなかでより多くの端末を配備したい
- セキュリティを担保しつつ、自宅や外出先で柔軟に働ける環境を提供したい
- コミュニケーションを軸に、学び方を変革したい

アプローチ

- LTE環境とChromebookの導入でインシナル+ランニング費用を削減
- 仮想環境で校務系システムを構築、教員の働き方改革を推進
- LTEとG Suiteでいつでもどこでも協働学習を可能に

4,500台のLTE環境のChromebookで、新しい教育インフラを構築

東京都町田市は人口約43万人の自治体で、神奈川県にかけて200万人規模の商圏を形成する一大商業都市です。市内には小学校42校と中学校20校があり、2017年度から4カ年計画で教育の情報化を進めています。これからの時代を生き抜く子どもたちにとってICT環境は必須であり、情報活用能力の育成や学力の向上につなげる活用をめざしています。

タブレット導入により、場所に縛られず学べる環境へ

町田市教育委員会がICT環境整備で重視したのは、校務用パソコンの入れ替えや児童生徒用のタブレット導入など、当時抱えていたさまざまな課題に対して、限られた予算で最大限の効果が得られる環境を構築することでした。そこで同市教委はChromebookをLTEと組み合わせることで、端末の予算を抑えつつ台数の確保を優先し、全小中学校に対して40台の学習用端末と、全教職員2,000名に対して校務兼指導用の同じ端末を配備する整備計画をまとめました。2018年度までに約2,000台が整備され、2020年度に向けては、さらに約2,500台が導入されます。



同市教委 学校教育部 教育センター 担当課長の林啓氏は、「LANを増強するコストに比べて、**LTEはインシナルとランニングを合わせたトータル費用が削減**できました」とメリットを語っています。町田市は全



林啓氏

金木圭一氏

小中学校にLAN環境が整備されていたものの、児童生徒が授業でタブレットを使う環境には対応していませんでした。また同市教委 学校教育部 指導課 指導室長兼指導課長の金木圭一氏は、「これからの時代は児童生徒が場所に縛られず、教室や学校以外でも学べる環境が重要です。もちろんタブレットを導入した後の学力への影響もみとっていきます。また、LTEであれば児童生徒の学習だけではなく、**教員の多様な働き方改革にも寄与**すると判断し導入を決めました」と語ってくれました。

町田市教育委員会

東京都町田市木曽東3-1-3

URL : <http://www.city.machida.tokyo.jp/kodomo/kyoiku/>

町田市教育委員会は2017年度からICT環境整備に着手し、市内の全小中学校62校と教職員全員に対して、4年間で約4,500台のChromebookをLTEと組み合わせて整備しています。情報活用能力の育成や学力の向上をめざすとともに、教員用端末では校務と学習で活用できる環境を実現。LTEのメリットを最大限に活かして、学び方の多様性と教員の働き方改革に貢献できるシステムを構築しました。



[取材協力] 町田市立堺中学校

Chromebook 1台で校務と学習に活用可能 教員の働き方改革を推進

同市教委が整備したICT環境で特筆すべきは、LTEのよさを最大限に発揮して、教員の働き方改革をめざしたシステムを導入したことです。具体的には、Chromebookから校務系ネットワークにセキュアにアクセスできるWindowsの仮想環境を構築し、1台の端末で校務と学習に活用できる環境を実現しました。

もちろんLTEなので、**教員たちは学校外の場所で校務や学習用のシステムにアクセスし仕事をすることも可能で、セキュアなネットワークと端末に情報を残さない仕組みにより情報漏洩やセキュリティも心配ありません。**



自宅での作業が可能になり、教員の働き方にも変化が

実際に、多くの教員たちがChromebookを自宅や学校外で使用しており、24時間アクセスが絶えないといいます。町田市立堺中学校の古田一博教諭は、「今までは少しの作業でも休日だろうと学校のサーバーにアクセスするために通っていましたが、今は自宅から作業ができるようになり、本当に助かっています。」と話しています。また同中学校の鳴海友里恵教諭も「学校で

は授業準備の時間を取るのがむずかしいときがあるのですが、そんな時も自宅ですることができるのが有り難いです。自宅ではほかの作業をしながら30分くらいで準備できるようになり助かっています」といいます。



鳴海 友里恵 教諭 古田 一博 教諭

ICTのメリットを自発的に活用し、学習に主体的に取り組む生徒たち

町田市立堺中学校は、同市教委が指定したICT教育推進モデル校のひとつで、ICTを活用する授業ではG Suite for Educationが主に使用されています。

たとえば中1地理の授業では、生徒たちが調べ学習した内容についてグループでプレゼンテーションのスライドにまとめました。「Google スライド」を活用し、複数人が同じスライドにアクセスしながら同時編集し、スライドの作成を円滑に進めました。

社会を受け持つ古田教諭はChromebookを活用した授業について、最初は使い方を教えたり、全員がログインするのに時間がかかるなど課題もありましたが、生徒たちが慣れてくると課題ではなく、**学習にも主体的に取り組むようになった**といいます。同教諭は「こちらが何もいわなくても、プレゼンを作るときに“スライドを共有していいですか”と提案されたり、スライドを分担しながら同時編集したりする姿が見られます。**ICTのメリットを学習に活用できる姿に成長を感じました**」と話してくれました。

リアルタイムの意見共有で、生徒同士のコミュニケーションが充実

また鳴海教諭は、「自分たちでブラッシュアップしやすいのか、**生徒たちの探究心が伸びています**」と手応えを語ってくれました。ネットなどの情報をどのように集めるか、プレゼンでもっとわかりやすく伝えるためにはどうすればいいか、**生徒同士がコミュニケーションを取りながら教え合うようになってきた**というのです。

リアルタイムのコミュニケーションが活発になればなるほど、生徒たちは主体性を発揮できます。町田市は、LTEでいつでもどこでもつながるChromebookを活かして授業改善を図り、新たな学びにつなげています。



お問い合わせ

株式会社NTTドコモ

ドコモ・コーポレートインフォメーションセンター(☎0120-808-539)
受付時間 平日午前9時～午後6時(土・日・祝日・年末年始を除く)

ドコモのホームページ 法人のお客さま
教育の場にICTを!

https://www.nttdocomo.co.jp/biz/special/education_ict/



※本チラシの内容は2019年1月取材時点のものです。